

# Panasonic 金属皮膜固定抵抗器

## 金属皮膜固定抵抗器 EROタイプ

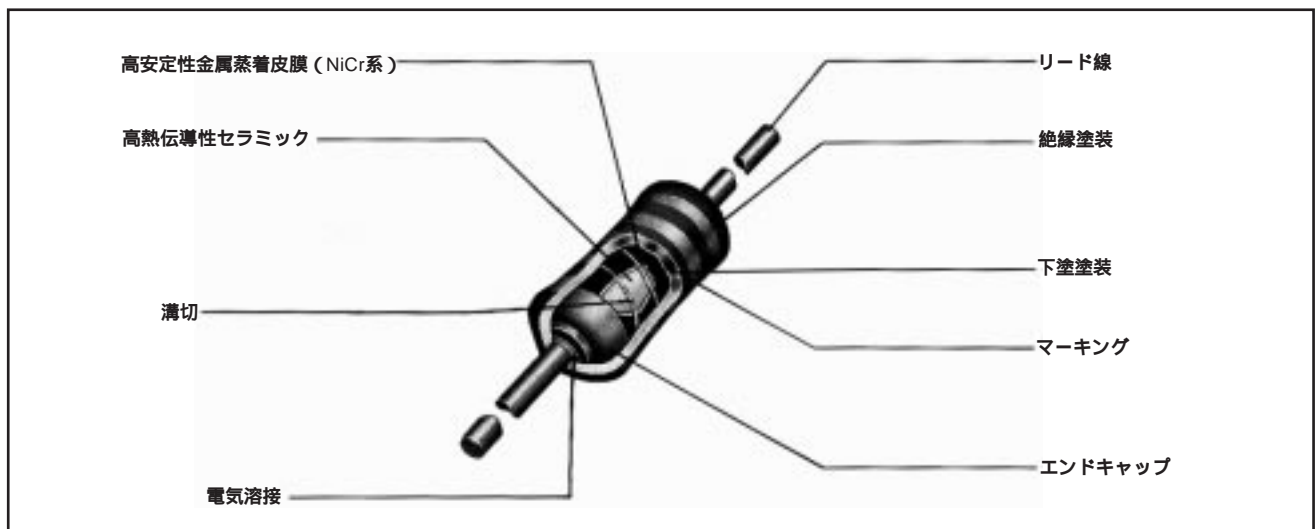
### ■ 特 長

- 高信頼性.....故障率水準はSレベル以上確保されています
- 高性能.....抵抗温度特性，電流雑音及び非直線性が優れています
- 品質保証体制...3年間，原材料に至るまでのロット追跡が可能です
- 堅牢な構造.....自動挿入機による組立てに耐えうる機械的強度を有しています
- ISO-9001 認定品

### ■ 適合規格

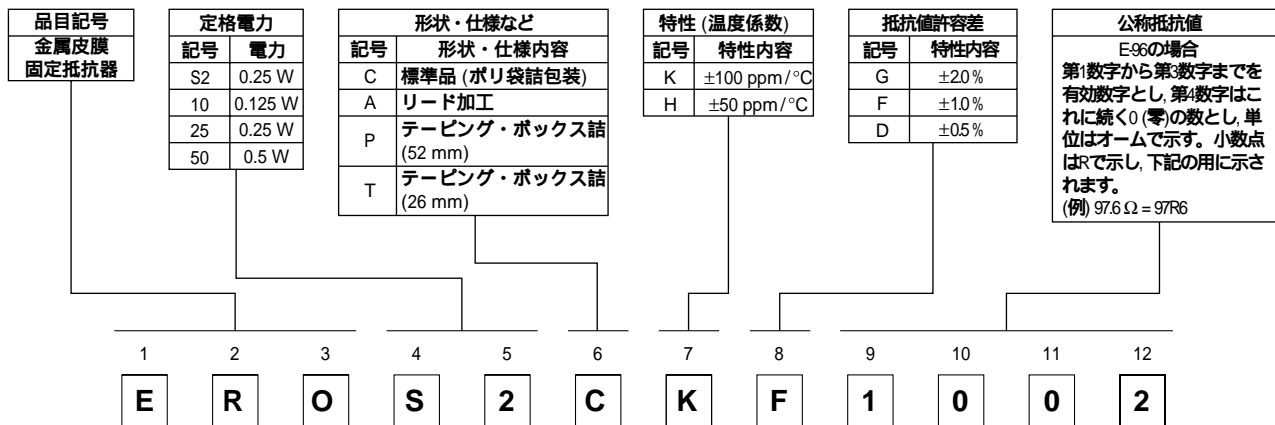
- IEC115-2, JIS C5724

### ■ 構造図



# Panasonic 金属皮膜固定抵抗器

## ■ 品番構成



## ■ 定 格

品 番	定格電力 70 °C	最高使用 電圧*	最高過負荷 電圧**	耐電圧	抵抗温度 特性 (ppm/°C)	抵抗値 許容差 (%)	抵抗値範囲 (Ω)	
							min.	max.
EROS2CK	0.250 (1/4 W)	250 V	500 V	300 V	±100	G (±2) F (±1)	2.0	1.0 M
EROS2CH	0.250 (1/4 W)	250 V	500 V	300 V	± 50	F (±1) D (±0.5)	2.0	1.0 M
ERO10CK	0.125 (1/8 W)	150 V	300 V	300 V	± 100	G (±2) F (±1)	2.0	1.0 M
ERO10CH	0.125 (1/8 W)	150 V	300 V	300 V	± 50	F (±1) D (±0.5)	2.0	1.0 M
ERO25CK	0.250 (1/4 W)	250 V	500 V	500 V	±100	F (±1)	2.0	1.0 M
ERO25CH	0.250 (1/4 W)	250 V	500 V	500 V	± 50	F (±1) D (±0.5)	2.0	1.0 M
ERO50CK	0.500 (1/2 W)	350 V	700 V	700 V	±100	F (±1)	20.0	2.2 M
ERO50CH	0.500 (1/2 W)	350 V	700 V	700 V	± 50	F (±1) D (±0.5)	20.0	1.0 M

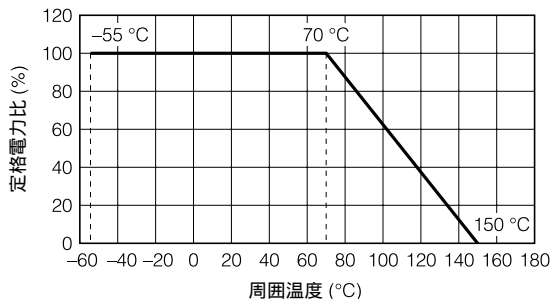
\* 定格電圧=√ 定格電力×公称抵抗値による算出値、又は表中の最高使用電圧のいずれか小さい方がその定格電圧となります。

\*\* 短時間過負荷電圧=2.5× 定格電圧による算出値、又は表中の最高過負荷電圧のいずれか小さい方がその短時間過負荷試験電圧となります。

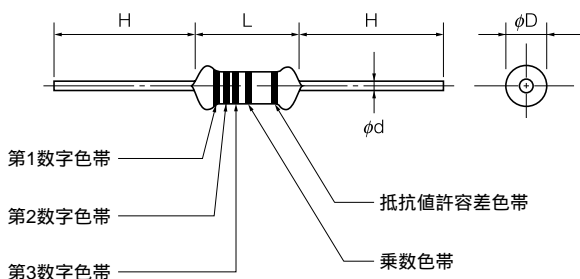
# Panasonic 金属皮膜固定抵抗器

## 負荷軽減曲線

周囲温度70℃以上で使用されるときは、下図の負荷軽減曲線にしたがって定格電力を軽減してください。



## 形状寸法



品番	寸法 (mm)				質量 g/1000 pcs.
	L	φD	φd	H	
EROS2C	3.20 <sup>+0.20</sup>	1.70 <sup>+0.20</sup> <sub>-0.10</sub>	0.45 <sup>+0.05</sup>	30.0 <sup>+3.0</sup>	107
ERO10C	3.70 <sup>+0.50</sup>	1.60 <sup>+0.20</sup>	0.40 <sup>+0.05</sup>	30.0 <sup>+3.0</sup>	92
ERO25C	6.30 <sup>+0.50</sup>	2.30 <sup>+0.50</sup>	0.60 <sup>+0.05</sup>	30.0 <sup>+3.0</sup>	228
ERO50C	9.50 <sup>+0.50</sup>	3.50 <sup>+0.50</sup>	0.60 <sup>+0.05</sup>	30.0 <sup>+3.0</sup>	381

## 安全上のご注意

- 定格電力と周囲温度**  
 定格温度と周囲温度は規定の軽減曲線を越えたご使用をしないでください。  
 \* 抵抗器の配置が密着する事による相互間の発熱の影響や隣接発熱部品の温度上昇を考慮の上、配置・取り付け等を行ってください。
- 外部衝撃**  
 自動実装時の機械的衝撃、あるいは実装後の基板の取扱いにより抵抗器本体の塗装にカケ・傷・剥がれが生じた場合初期の特性がでない場合があります。
- 超音波洗浄**  
 部品の共振などにより抵抗器のリード線が切断される場合がありますのでご確認の上使用ください。
- パルス負荷**  
 パルス負荷を印加する場合ピーク値を定格電圧以下としてください。

本カタログは部品単体での品質・性能を現わすものです。品質保証については納入仕様書をお取り交わしてください。ご使用に際しては貴社製品に実装された状態で必ず評価、確認を実施してください。